

アジア太平洋地域の災害リスク軽減についてのバンコク宣言 2014 のポイント

アジア太平洋地域の各国閣僚、政府代表は、2014 年 6 月 22～26 日にタイ政府がホストした第 6 回アジア防災閣僚級会議に参加し、全ての政府及びステークホルダーに次の行動を呼びかける：

① 災害に強い地域づくりの推進について

(コミュニティ強靱化の地方開発計画への組み込みの制度化、女性のリーダーとして役割の強化、子供や若者などの参加や貢献への配慮、伝統的な知識の活用、分かりやすい情報伝達等)

② 開発の成果を保護し維持する災害及び気候リスク管理のための公共投資の改善

(全セクターの開発計画におけるリスクに敏感な投資の促進、リスク情報の作成・分析・活用能力の強化等)

③ 官民パートナーシップにおける民間部門の役割

(災害対応指向から、ビジネスの一環としての事前投資へのシフト促進、ステークホルダー間の対話促進、中小企業の防災活動向上のための制度構築、民間部門によるコミットメント強化等)

④ 科学技術

(科学技術、技術革新のさらなる促進、中央・地方政府が技術革新を利用しやすくする技術移転、オープンソースやネットワーク化による優良事例の共有、各国比較できるデータの収集・共有促進等)

⑤ ガバナンス・透明性・説明責任の強化

(防災関連資金を地域へ確実に供給するための資金追跡制度の強化)

⑥ ポスト 2015 年防災枠組 (ポスト HFA)

(ポスト HFA の検討への貢献、アジア太平洋地域のポスト HFA 実施計画の策定、ポスト HFA 及び地域プラットフォームにおけるコミットメントのモニタリング等)

⑦ ポスト HFA と持続可能な開発目標・気候変動に関する並行プロセスとの一貫性の確保

(ポスト 2015 年持続可能な開発アジェンダの検討における防災・気候リスク管理の重視、開発政策・計画におけるリスクアセスメントの促進、法的・制度的枠組みを活用した防災の開発分野への統合、ポスト 2015 年開発アジェンダへの災害に対する強靱化の位置付け、あらゆるステークホルダーによる防災・気候変動・持続可能な開発への一貫した対応の奨励等)